

保健管理センター業務報告書

(2023年度版)

筑波大学保健管理センター

目 次

1. 保健管理センター沿革	1
2. 保健管理センター細則	4
3. 保健管理センター運営委員会	
1) 運営委員名簿	13
2) 運営委員会議事	14
4. 保健管理センターの組織図及び職員	
1) 組織図	15
2) 職員	16
5. 対応業務等	17
6. 入学志願者健康診断書審査及び精密健康診断	19
7. 学生健康診断	
1) 定期健康診断	
i) 受診状況	20
a) 学群生	20
b) 大学院生	20
c) 研究生等	20
ii) 健康診断再検査者	21
2) 特殊健康診断	
i) 電離放射線健康診断：学群生及び大学院生（研究生含む）	22
ii) 有機溶剤健康診断：学群生及び大学院生（研究生含む）	22
iii) 特定化学物質健康診断：学群生及び大学院生（研究生含む）	22
8. 職員健康診断	
1) 一般健康診断	
i) 定期健康診断受診者数及び受診率	23
ii) 事業場ごとの有所見者数及び有所見率	24
iii) 項目別有所見者数及び有所見率	25
iv) 年間の有所見者数	26
v) 特定業務従事者の健康診断	26
2) 特殊健康診断	
i) 電離放射線健康診断	27
ii) 有機溶剤健康診断	27
iii) 特定化学物質健康診断	28
iv) 高気圧業務健康診断	28

3) 事後措置	
i) 受診勧奨及び健康相談	28
ii) 医師の意見	28
4) がん検診	
i) 胃造影検査	29
ii) 便潜血反応検査	29
iii) P S A 検査	29
9. 保健管理センター利用状況	
1) 健康相談月別利用状況	
i) 学生内科受診数	30
ii) 学生整形外科受診数	30
iii) 学生外科処置受診数	30
iv) 学生精神科受診数	31
v) 職員・その他	31
2) 診療収入等	32
10. その他	
1) インフルエンザワクチン接種	33
2) 臨床検査実施数	33
3) エックス線写真撮影件数及び枚数	34
4) 心理検査実施数	35
5) 処方箋発行数	36
6) 外部診療機関紹介状況	37
7) 健康診断証明書等発行数	38
8) 救護活動	39
9) 救急箱貸出数	40
10) 医療安全教育研修	41
11. 研究業績	42

1. 保健管理センター沿革

昭和48年10月の筑波大学の開学にあわせて、保健管理センターが設置された。昭和49年4月に専任の職員が発令となり、オリンピック記念青少年総合センターにおいて開かれた新入学生オリエンテーション以降、臨床医学系教員ほか関係各位の協力を得て救護活動を開始した。

昭和49年6月3日に筑波地区での講義開始に合せ、体育合宿所の一部で本格的業務を開始し、昭和50年7月に専用の建物が現在地に竣工し、移転した。

なお、昭和49年9月から、文部省（現文部科学省）共済組合筑波大学支部診療所が当センターに併設され、以後その業務についてもセンター職員が兼務している。

昭和53年3月31日の東京教育大学の閉学、筑波大学への移管に伴い、東京教育大学で健康管理業務を担ってきた健康相談所も閉鎖され、本学東京地区職員の健康管理業務は当センターが行うことになった。

昭和54年10月から、一の矢学生宿舎に夜間医務室を設け、医師が宿泊し夜間の救急に備えた。

開学当初は学生相談の対応とともに内科、精神科、整形外科及び歯科を開設し、昭和50年に眼科（～平成元年度）、また昭和57年には婦人科（～平成8年度）が開設され、さらに昭和63年には運動選手を主たる対象とするスポーツ・クリニックも始められた。

平成元年に創立15周年を迎え、記念誌「健康への歩み」を発行した。

平成3年7月に、本学が当番大学となり第29回全国大学保健管理研究集会関東甲信越地方部会研究集会を大学会館国際会議室において開催した。

平成3年末に、附属病院の救急部の新設や近隣病院の開設等の医療体制の整備に伴い、一の矢学生宿舎の夜間医務室を廃止した。また、プロジェクトとしてのスポーツ・クリニックが終了し、平成4年度からはスポーツ外来部門を当センターの業務、トレーニング・クリニック部門を体育センターの業務とするスポーツ・クリニックがスタートした。

平成6年には、創立20周年を迎え、記念誌「学生相談室20周年誌」を発行した。

平成9年12月に、センター事務室等の改修工事が行われ、事務部門及び看護部門を一体化し、サービスセンターとしての機能の向上を図った。

平成10年4月から、健康診断実施業務の充実と省力化を図るため外部業者に業務委託を行うとともに、関連業務の効率化を図るための電算化を開始した。

平成11年には、健康診断業務の電算化をさらに推進し、受診者の健康管理や健康診断証明書発行業務等での一層の効率化を図った。また、創立25周年を迎え、記念誌を発行した。

平成14年10月の図書館情報大学との統合に伴い同大学体育・保健センターの保健部門との組織及び業務の統合が行われた。

平成16年4月の国立大学法人化に伴い、当センターも労働安全衛生法に基づく労働安全衛生業務を担当することになり、センター職員も産業医や衛生管理者として専門的業務に対応することになった。

平成19年7月に、本学が当番大学となり第45回全国大学保健管理研究集会関東甲信越地方部会研究集会を大学会館講堂において開催した。

平成20年1月に、学生健康診断証明書の証明書自動発行機からの発行が開始となり、学生の利便性が図られた。

平成23年3月に、学生相談のWEBサイトのリニューアルを行い、モバイルサイトを構築した。

平成24年2月に、学生相談窓口を春日エリアにも開設した。

平成24年3月に、保健管理センターホームページのリニューアルを行った。

平成25年10月1日から、耐震改修工事のため、文部科学省共済組合筑波大学支部診療所を休診とし、当センターのみ11月11日に、クラブハウスに仮移転して診療業務を開始した。なお、文部科学省共済組合筑波大学支部診療所は、耐震改修後の併設が困難なことから、平成26年1月31日に廃止した。

平成26年6月24日に、当センターの耐震改修工事が完了したため、仮移転先のクラブハウスから移転した。

平成27年10月から、本学附属病院主催の「診療の安全に関する研修」（年2回開催）を当センターにてDVD研修として実施した。

平成28年6月に設置された保健管理センターのあり方検討会を経て、11月に保健管理センター改革準備委員会が設置され、平成29年6月に役員会において改革提言（診療の有償化、健診・救護に関わる業務の効率化、学生相談・メンタルヘルス対策充実に関わる体制・環境の見直し及び管理・運営体制の見直し）が報告された。

改革提言のもと、平成30年4月よりセンター組織をフィジカルヘルス部門とメンタルヘルス部門に分け、副所長を設置した。さらに入試救護の集約化、後発医薬品の積極採用が行われた。平成31年1月からは診療情報管理システム“THOCS”を導入し、診療料金等の有償化を開始した。同年4月、保健管理センターから学生相談室を分離独立させ、学生相談体制の強化を図った。また、スポーツ・クリニックを整形外科に統合した。さらに、同年度より健康診断における法定外の項目を中心とする検査項目の見直しが行われた。

令和元年11月に感染症予防対策の一環として、希望者に対し、インフルエンザワクチン接種を実施した。

令和2年8月に新型コロナウイルス感染症の疑いのある者に対する発熱外来（電話診療）を設置した。

大学周辺には歯科施設が充足している状況にあること等を踏まえ、令和3年3月31日を以って歯科診療を廃止した。

令和3年8月30日から11月5日まで、新型コロナウイルスワクチン職域接種（1、2回目）が実施され、当センターからも人員を派遣し協力した。

令和4年6月6日から6月17日まで、12月5日から12月16日まで、新型コロナウイルスワクチン職域接種（3、4回目）が実施され、当センターからも人員を派遣し協力した。

令和5年10月26日から10月27日まで、医学群生の臨床実習時におけるインフルエンザ感染予防を目的とし、医学群生へのインフルエンザワクチン接種を実施した。

2. 保健管理センター細則

〔平成 16 年 4 月 1 日〕
〔保健管理センター部局細則第 1 号〕

改正 平成 26 年保健管理センター部局細則第 1 号
平成 30 年保健管理センター部局細則第 1 号
平成 30 年保健管理センター部局細則第 2 号
平成 31 年保健管理センター部局細則第 1 号
令和 元年保健管理センター部局細則第 1 号
令和 元年保健管理センター部局細則第 2 号
令和 2 年保健管理センター部局細則第 1 号
令和 3 年保健管理センター部局細則第 1 号
令和 4 年保健管理センター部局細則第 1 号
令和 5 年保健管理センター部局細則第 1 号

保健管理センター細則

（趣 旨）

第 1 条 この部局細則は、国立大学法人筑波大学の組織及び運営の基本に関する規則（平成 16 年法人規則第 1 号。以下「基本規則」という。）第 51 条第 5 項の規定に基づき、保健管理センター（以下「センター」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

（目 的）

第 2 条 センターは、国立大学法人筑波大学（以下「本学」という）における保健管理に関する専門的な業務を行い、もって本学の学生及び職員の心身の健康の維持及び増進を図ることを目的とする。

（業 務）

第 3 条 センターは、次に掲げる業務を行う。

- (1) 学生及び職員等の健康管理等についての企画及び立案に関すること。
- (2) 学生及び職員等の定期及び臨時の健康診断の実施並びに保健指導に関すること。
- (3) 学生及び職員等の急病等に対し応急診療及び救急処置を行うこと。
- (4) 学生及び職員等の健康相談に応じること。
- (5) 学生のメンタルヘルスに関する相談、診療及び企画を行うこと。
- (6) 環境衛生及び伝染病の予防に関し教育指導を行うこと。
- (7) 心身の健康障害の予防及び保健管理の充実向上のための専門的調査研究を行うこと。
- (8) その他健康管理等に関する専門的業務を行うこと。

- 2 センターは、前項各号の業務のうち職員に係るものについては、基本規則第35条第1項及び国立大学法人筑波大学職員の安全衛生管理規則（平成16年法人規則第29号）第10条に規定する特別な組織として設置される環境安全管理室と連携して、これを行うものとする。

（診療料金等）

第4条 前条第1項第3号及び第5号に規定する診療及び処置に関する業務において、診察費、薬剤費、検査費、処置費、書類作成費等（以下「診療料金等」という。）を徴収する。

- 2 前項に規定する診療料金等の額及び徴収方法は、別表のとおりとする。
- 3 第1項に規定する診療料金等の領収証書、領収済報告書及び原符の様式は、それぞれ別記様式第1号から第3号までのとおりとする。

（副所長）

第5条 センターに、副所長を置く。

- 2 副所長は、センターの業務に従事する大学教員のうちからセンターの長（以下「所長」という。）が指名する。
- 3 副所長は、所長の職務を補佐する。
- 4 副所長の任期は、2年とする。ただし、任期の終期は、副所長となる日の属する年度の翌年度の末日とする。
- 5 前項本文の規定にかかわらず、任期中に欠けた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。
- 6 副所長は、再任されることができる。

（部 門）

第6条 センターに、次の表の左欄に掲げる部門を置き、同表右欄の業務を担当する。

名 称	担当業務
フィジカルヘルス部門	身体に関する業務
メンタルヘルス部門	メンタルヘルスに関する業務

- 2 前項に規定する部門にリーダーを置き、所長が指名する。
- 3 リーダーは、第1項に掲げる業務を統括する。
- 4 リーダーの任期は、2年とする。ただし、任期の終期は、リーダーとなる日の属する年度の翌年度の末日とする。
- 5 前項本文の規定にかかわらず、任期中に欠けた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。
- 6 リーダーは、再任されることができる。

(運営委員会)

第7条 センターに、基本規則第53条第1項に規定する運営委員会として、センター運営委員会（以下「委員会」という。）を置く。

2 委員会は、センターの管理運営に関する基本的な事項を審議する。

3 委員会は、次に掲げる委員で組織する。

- (1) 所長
- (2) 副所長
- (3) センターの業務に従事する大学教員 2人
- (4) 医学医療系長の推薦に基づき所長が委嘱する大学教員 3人
- (5) その他センターの維持運営に係る大学教員 5人
- (6) 学生部長

第8条 前条第3項第3号から第5号までの委員の任期は、2年とする。ただし、任期の終期は、委員となる日の属する年度の翌年度の末日とする。

2 補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 前2項の委員は、再任されることができる。

第9条 委員会に委員長を置き、第7条第3項第1号の委員をもって充てる。

2 委員長は、委員会を主宰する。

3 委員長に事故があるときは、第7条第3項第2号の委員がその職務を代行する。

第10条 委員会は、過半数の委員が出席しなければ、議事を開き、議決することができない。

2 委員会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

(専門研究員)

第11条 センターに、特定の業務について調査研究を行わせるため、専門研究員を置くことができる。

2 専門研究員は、大学教員のうちから所長が指名する。

3 専門研究員の任期は、1年とする。ただし、任期の終期は、専門研究員となる日の属する年度の末日とする。

(センター会議)

第12条 センターに、センターの業務の円滑な運営を図るため、センター会議を置く。

2 センター会議に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

- 1 この部局細則は、平成16年4月1日から施行する。
- 2 この部局細則施行前に運営委員会の委員である者であって、この部局細則施行後も当該委員として任期が引き続くものについては、この部局細則により運営委員会の委員となるものとみなす。ただし、その任期は、第5条第1項本文の規定にかかわらず、この部局細則施行の日から平成17年3月31日までとする。

附 則（平26.12.16保健管理センター部局細則1号）

この部局細則は、平成26年12月16日から施行し、改正後の国立大学法人筑波大学保健管理センター細則の規定は、平成25年4月1日から適用する。

附 則（平30.3.20保健管理センター部局細則1号）

この部局細則は、平成30年4月1日から施行する。

附 則（平30.12.21保健管理センター部局細則2号）

この部局細則は、平成31年1月1日から施行する。

附 則（平31.3.1保健管理センター部局細則1号）

この部局細則は、平成31年4月1日から施行する。

附 則（令元.9.6保健管理センター部局細則1号）

この部局細則は、令和元年10月1日から施行する。

附 則（令元.10.8保健管理センター部局細則2号）

この部局細則は、令和元年11月1日から施行する。

附 則（令2.6.22保健管理センター部局細則1号）

この部局細則は、令和2年6月22日から施行し、改正後の保健管理センター細則の規定は、令和2年4月1日から適用する。

附 則（令3.3.10保健管理センター部局細則1号）

この部局細則は、令和3年4月1日から施行する。

附 則（令4.9.20保健管理センター部局細則1号）

この部局細則は、令和4年9月20日から施行する。

附 則（令 5. 2. 21 保健管理センター部局細則 1 号）
この部局細則は，令和 5 年 4 月 1 日から施行する。

別表（第4条関係）

1 診療料金等の額

単位：円

項 目		内 科	整形外科	精神科
(1) 診察費		500	500	1,000
(2) 薬剤費		300	300	1,000
(3) 検査費	(a) レントゲン	500	500	500
	(b) 心理検査			1,000
	(c) 心理検査（簡易）			500
	(d) その他の検査	500	500	500
(4) 処置費	(a) 医師処置	500	500	500
	(a) 紹介状	1,000	1,000	1,000
	(b) 診断書（センターの診療に基づくもの）	1,000	1,000	1,000
	(c) 特殊診断書	2,000	2,000	2,000
	(d) レントゲンコピー	500	500	500
	(e) 検査結果コピー	500	500	500
(5) 書類作成費等	(f) その他	1,000	1,000	1,000
	(a) インフルエンザ	3,000		

2 診療料金等の徴収方法

(1) 定期健康診断の呼出し診療

定期健康診断の呼出しによる診療及び再検査は、無料とする。ただし、当日に薬剤処方が必要な場合は、薬剤費を徴収する。

(2) 1診療科を受診する場合

レントゲン及び心理検査以外の検査は、複数行われた場合であっても、検査費は500円とする。

(3) 複数の診療科を受診する場合

診察費、薬剤費、検査費及び処置費は、それぞれの診療科の診療料金等の額の合計額とする。

(4) その他

(7) 学生及び職員の定期健康診断に基づく健康診断証明書の作成は無料とする。

(イ) 来所証明書及びSPEC指示書の作成は無料とする。

(ウ) 看護師健康相談は無料とする。

(エ) 松葉杖等装具貸出しは無料とする。

(オ) 学生の保護者、又は指導教員等に対する相談は無料とする。

(カ) 特殊診断書には、センターの診療に基づく定型の診断書以外のすべての診断書を含む。

別記様式第 1 号 (第 4 条関係)

領 収 証 書		No	
殿		(摘要)	
領 収 金 額	千	百	十
上記金額領収いたしました。 年 月 日 国立大学法人筑波大学 出納役		領 収 日 付 印 	

円

円

円

円

円

円

円

円

円

円

円

円

円

円

円

円

円

円

円

円

円

円

円

円

円

円

円

円

円

円

円

円

円

円

円

円

円

円

円

円

円

円

円

円

円

領 収 済 報 告 書					No					
殿					(摘要)					
領 収 金 額			千	百	十	万	千	百	十	円
上記金額領収いたしました。 年 月 日 国立大学法人筑波大学 出納役								領 収 日 付 印		
								円		
								円		
								円		
合計金額								円		

(大きさ A4)

別記様式第 3 号（第 4 条関係）

原 符		No	
殿		(摘要)	
領 収 金 額		千	百
	十	万	千
	百	十	円
上記金額領収いたしました。 年 月 日 国立大学法人筑波大学 出納役		領 収 日 付 印	

円
 円
 円

合計金額
円

(大きさ A4)

3. 保健管理センター運営委員会

1) 運営委員名簿

令和5年6月1日現在

氏 名	職 名	所 属	任 期	備 考
(センター所長)				
◎太 田 深 秀	教 授	医 学 医 療 系	—	
(センター副所長)				
間 瀬 かおり	講 師	医 学 医 療 系	—	
(センターの業務に従事する大学教員)				
村 越 伸 行	准教授	医 学 医 療 系	4. 4. 1 ～ 6. 3.31	
白 鳥 裕 貴	講 師	医 学 医 療 系	4. 4. 1 ～ 6. 3.31	
(医学医療系長の推薦に基づき所長が委嘱する大学教員)				
檜 澤 伸 之	教 授	医 学 医 療 系	5. 4. 1 ～ 7. 3.31	
石 津 智 子	准教授	医 学 医 療 系	5. 6. 1 ～ 7. 3.31	
川 上 康	教 授	医 学 医 療 系	5. 4. 1 ～ 7. 3.31	
(その他センターの維持運営に関係する大学教員)				
中 村 修	教 授	環境安全管理室	4. 4. 1 ～ 6. 3.31	環境安全管理室長
加 賀 信 広	教 授	人 文 社 会 系	4. 4. 1 ～ 6. 3.31	スチューデントサポートセンター 学生生活支援室長
杉 江 征	教 授	人 間 系	4. 4. 1 ～ 6. 3.31	スチューデントサポートセンター 学生相談室長
鍋 倉 賢 治	教 授	体 育 系	5. 4. 1 ～ 6. 3.31	体育スポーツ局 体育統括長
新 井 哲 明	教 授	医 学 医 療 系	4. 4. 1 ～ 6. 3.31	附属病院 精神神経科グループ長
(本部部長であって学生生活に関する業務に従事する職員)				
中 澤 秋 夫	部 長	学 生 部	—	

◎は委員長を示す。

2) 運営委員会議事

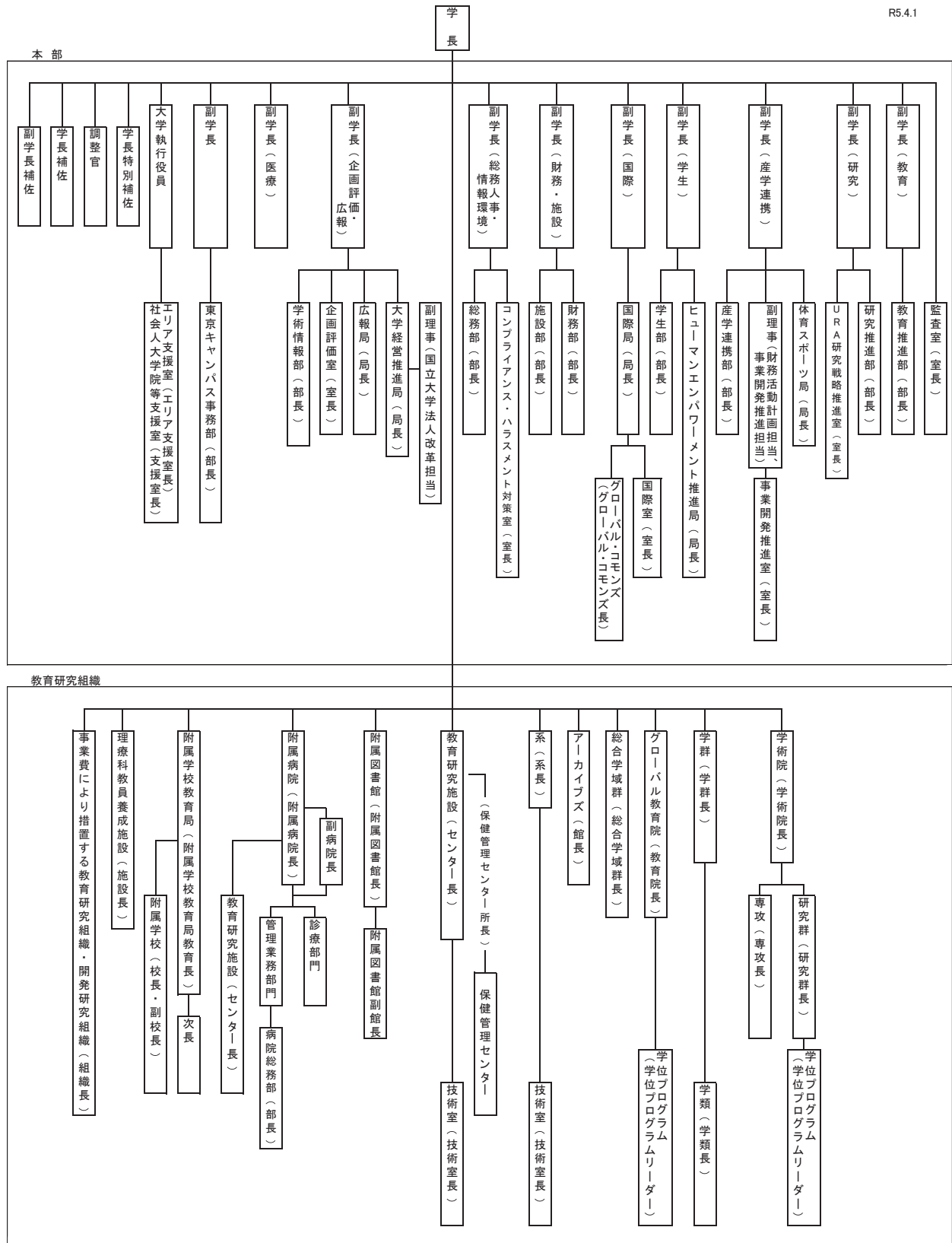
令和5年度の運営委員会は1回開催し、通常議題のほか、保健管理センター所長の候補者の内申について審議を行った。

第1回 令和5年12月11日開催

議題等 ・ 保健管理センター所長の候補者の内申について

4. 保健管理センターの組織図及び職員

1) 組織図



2) 職 員

所 長 精 神 科：太田 深秀 教授

副 所 長 内 科：間瀬 かおり 講師＊

教 員 内 科：村越 伸行 准教授＊，谷田貝 洋平 講師
整形外科：三浦 紘世 講師
精 神 科：白鳥 裕貴 講師＊，袖山 紀子 助教

医 療 職 員 寺門 恵美子 看護師，大川 明日香 看護師
浅原 雅子 看護師，坂本 幸子 看護師
上等 美貴 保健師（～ 8/31）
大畑 瞳 薬剤師
片岡 裕司 診療放射線技師

事 務 職 員 中山 頼親 専門員，高野 七重 係長，黒堀 沙織 一般係員

非 常 勤 医 師 望月 美恵（内科）
埜口 博司（整形外科），宮本 芳明（整形外科）
渡部 衣美（精神科）

非常勤職員等 渡邊 明子 薬剤師，稲葉 由美子 臨床検査技師
増田 彩乃 臨床心理士（テスター）
井坂 信夫 シニアスタッフ
李 暁芳 事務補佐員，牧岡 昌恵 事務補佐員（5/1 ～）
鈴木 京子 派遣職員

（注）＊は産業医

他に臨床医学域，心理学域，体育系からの多数の教員の御協力・御支援をいただいた。

5. 対 応 業 務 等

4 月	入学式救護と新入生オリエンテーション対応 学群学生，大学院学生，研究生，日本語研修生等の定期健康診断と再検査
5 月	放射線業務従事者講習会に伴う電離放射線健康診断 学生定期健康診断に伴う再検査・精密検査 障害のある学生定期健康診断 職員一般定期健康診断 学生・職員特殊健康診断 職員便潜血検査・前立腺特異抗原（PSA）検査 春季スポーツ・デー救護
6 月	職員一般定期健康診断 学生・職員特殊健康診断 職員の便潜血検査・前立腺特異抗原（PSA）検査 職員一般定期健康診断（東京地区） 学生定期健康診断（東京地区） 学生・職員特殊健康診断（東京地区） 職員の便潜血検査・前立腺特異抗原（PSA）検査（東京地区） 体育専門学群学生水泳臨海実習参加者健康診断審査・精密検査
7 月	放射線業務従事者講習会に伴う電離放射線健康診断 学生定期健康診断に伴う再検査・精密検査 共通科目「体育」集中実習（水辺活動）受講学生に対する健康診断審査・精密検査 大学院推薦入学試験に伴う救護 学群編入学試験に伴う救護
8 月	大学院入学試験に伴う救護 受験生のための筑波大学説明会に伴う救護 国際バカロレア特別入学試験に伴う救護
9 月	全国大学保健管理協会・関東甲信越地方部会研究集会参加
10 月	インフルエンザワクチン接種 アドミッションセンター入学試験（第Ⅰ期），国際科学オリンピック特別入学試験， 国際バカロレア特別入学試験に伴う救護 全国大学保健管理研究集会参加 医学群生へのインフルエンザワクチン接種
11 月	秋学期入学者・外国人留学生健康診断と再検査 職員特定健康診断（春季未受診者を含む） 学生・職員特殊健康診断 放射線業務従事者講習会に伴う電離放射線健康診断 職員特定健康診断（春季未受診者を含む）（東京地区） 職員特殊健康診断（東京地区）

11 月	職員の胃エックス線検査（東京地区） 学園祭に伴う救護 秋季スポーツ・デー救護 学群推薦入学試験に伴う救護 学群推薦入学試験（体育専門学群）に伴う精密検査 インフルエンザワクチン接種
12 月	学群編入学試験追試験に伴う救護 職員の胃エックス線検査 大学院（グローバル教育院）入学試験に伴う救護 インフルエンザワクチン接種
1 月	大学入学共通テストに伴う救護 大学院入学試験（2 月期）に伴う救護
2 月	学生定期健康診断（医学類，看護・医療科学類，教育実習，介護等体験） 個別学力検査等試験前期日程に伴う精密検査・救護
3 月	放射線業務従事者講習会に伴う電離放射線健康診断 個別学力検査試験後期日程に伴う救護 卒業式・学位記授与式に伴う救護

（注）（東京地区）の記載のないものはすべて筑波地区で実施したもの。

標記の行事等対応業務のほか，次の日常的主要業務を行った。

- ・ 内科，整形外科，精神科の日常診療，健康相談，随時応急措置
- ・ 学生有償健康診断
- ・ 学生，職員要経過観察者の管理
- ・ 精神衛生相談
- ・ 健康診断証明書の発行
- ・ 海外派遣労働者健康診断

6. 入学志願者健康診断書審査及び精密健康診断

月別 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
学 群 個 別 学 力 検 査											17		17
学 群 推 薦 A C 入 試								8					8
計								8			17		25

※上段は書類審査数，下段は精密健康診断を実施

7. 学 生 健 康 診 断

1) 定期健康診断

i) 受診状況

a) 学群生

健 診 種 別	2 月 (実習)			4 月 (定期)			10 月 (二学期入学・留学生等)		
学 群	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	在籍者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)
人 文・文 化 学 群	55	53	96.4%	904	587	64.9%	8	6	75.0%
社 会・国 際 学 群	8	7	87.5%	669	373	55.8%	13	12	92.3%
人 間 学 群	40	37	92.5%	483	366	75.8%	0	0	0.0%
生 命 環 境 学 群	38	37	97.4%	1,008	709	70.3%	14	14	100.0%
理 工 学 群	39	36	92.3%	2,146	1,352	63.0%	8	8	100.0%
情 報 学 群	6	6	100.0%	1,030	628	61.0%	0	0	0.0%
グ ローバル教育院	0	0	0.0%	23	6	26.1%	9	9	100.0%
医 学 群	503	481	95.6%	804	727	90.4%	5	5	100.0%
体 育 専 門 学 群	163	151	92.6%	890	757	85.1%	0	0	0.0%
芸 術 専 門 学 群	29	27	93.1%	413	294	71.2%	3	3	100.0%
総 合 学 域 群	5	5	100.0%	435	394	90.6%	0	0	0.0%
学 群 計	886	840	94.8%	8,805	6,193	70.3%	60	57	95.0%

b) 大学院生

大 学 院	7	7	100.0%	7,048	3,122	44.3%	183	120	65.6%
-------	---	---	--------	-------	-------	-------	-----	-----	-------

c) 研究生等

研 究 生 等	1	1	100.0%	762	300	39.4%	417	317	76.0%
---------	---	---	--------	-----	-----	-------	-----	-----	-------

合 計	894	848	94.9%	16,615	9,615	57.9%	660	494	74.8%
-----	-----	-----	-------	--------	-------	-------	-----	-----	-------

ii) 健康診断再検査者

項 目		学 群 生				大 学 院 生				研 究 生 等				合 計			
		対 象 者 数	受 検 者 数	結 果		対 象 者 数	受 検 者 数	結 果		対 象 者 数	受 検 者 数	結 果		対 象 者 数	受 検 者 数	結 果	
				要 治 療	経 過 観 察			要 治 療	経 過 観 察			要 治 療	経 過 観 察			要 治 療	経 過 観 察
胸部エックス線		11	10	0	5	10	10	0	6	6	6	0	5	27	26	0	16
血 圧		2	2	0	1	1	0	0	0	1	1	0	1	4	3	0	2
尿	蛋 白	52	37	0	4	12	12	0	0	18	10	0	0	82	59	0	4
	糖	20	19	0	2	13	13	0	0	2	1	0	0	35	33	0	4
内 科 所 見		19	19	0	2	7	7	0	1	1	1	0	1	27	27	0	4
心 電 図		44	44	0	22									44	44	0	22
計		148	131	0	36	43	42	0	7	28	19	0	7	219	192	0	52

項 目		学 群 生				大 学 院 生				研 究 生 等				合 計			
		対 象 者 数	受 検 者 数	結 果		対 象 者 数	受 検 者 数	結 果		対 象 者 数	受 検 者 数	結 果		対 象 者 数	受 検 者 数	結 果	
				継 続	終 了			継 続	終 了			継 続	終 了			継 続	終 了
こころの健康		545	52	21	31	306	23	5	18	40	5	2	3	891	80	28	52

(注) 胸部エックス線検査対象者は、学群1年生、大学院1年生、および実習等で健康診断証明書が必要な学生である。

(注) 心電図検査対象者は、体育専門学群1年生および、実習等で健康診断証明書が必要な体育専門学群生・学群1年生である。

(注) 結果：異常なしは、受検者数－(要治療＋経過観察)である。

(注) 2019年度より肥満は健康診断証明書での指導のみとした。

2) 特殊健康診断

i) 電離放射線健康診断：学群生及び大学院生（研究生含む）

実 施 月	対 象 数	受 診 数	要再検数	結 果			
				異常なし	要 観 察	要 精 密	要 医 療
初心者（5月）	106	91	0	60	28	3	0
定 期（5月）	183	172	0	133	35	4	0
初心者（7月）	18	16	0	11	3	2	0
初心者（11月）	12	12	0	9	3	0	0
定 期（11月）	241	201	0	164	33	4	0
令和6年 初心者（3月）	34	32	0	15	14	2	1
合 計	594	524	0	392	116	15	1

ii) 有機溶剤健康診断：学群生及び大学院生（研究生含む）

実 施 月	対 象 数	受 診 数	要再検数	結 果			
				異常なし	要 観 察	要 精 密	要 医 療
5 月	0	0	0	0	0	0	0
11月	0	0	0	0	0	0	0
合 計	0	0	0	0	0	0	0

（注）2021年度より学生の有機溶剤健康診断対象者及び対象物質を変更した。

iii) 特定化学物質健康診断：学群生及び大学院生（研究生含む）

実 施 月	対 象 数	受 診 数	要再検数	結 果			
				異常なし	要 観 察	要 精 密	要 医 療
5 月	0	0	0	0	0	0	0
11月	0	0	0	0	0	0	0
合 計	0	0	0	0	0	0	0

（注）2021年度より学生の特定化学物質健康診断対象者及び対象物質を変更した。

8. 職 員 健 康 診 断

1) 一般健康診断

i) 定期健康診断受診者数及び受診率

(令和5年10月1日在職者，非常勤職員：週20時間以上の勤務者)

事業場	対象者数	受診者数	受診率
大学本部等事業場	3,158	2,852	90.3%
附属病院事業場	2,594	2,556	98.5%
東京キャンパス事業場	157	132	84.1%
附属小学校事業場	48	45	93.8%
附属中学校事業場	34	33	97.1%
附属高等学校事業場	50	44	88.0%
附属駒場中学校・ 附属駒場高等学校事業場	50	49	98%
附属視覚特別支援学校事業場	112	111	99.1%
附属聴覚特別支援学校事業場	97	97	100%
附属大塚特別支援学校事業場	40	38	95.0%
附属桐が丘特別支援学校事業場	78	78	100.0%
附属坂戸高等学校事業場	52	46	88.5%
附属久里浜特別支援学校事業場	44	43	97.7%
計	6,514	6,124	94.0%
(令和4年度)	6,683	6,338	94.8%

(令和6年1月31日までの集計結果)

健康診断実施日 筑波地区：令和5年5月26日～6月6日（8日間）

令和5年11月7日～11月10日（3.5日間）

東京地区：令和5年6月21日～6月23日（3日間）

令和5年11月22日（1日間）

附属坂戸高等学校事業場，附属久里浜特別支援学校事業場，その他の遠隔地では別日程で実施。人間ドックや他の医療機関等の結果報告を含む。

ii) 事業場ごとの有所見者数及び有所見率

事業場	受診者数	有所見者数 ^注 (要観察・要精密・要医療)		医療機関受診が 必要な者の数 (要精密・要医療)	
大学本部等事業場	2,852	2,395	84.0%	897	31.5%
附属病院事業場	2,556	1,750	68.5%	447	17.5%
東京キャンパス事業場	132	122	92.4%	42	31.8%
附属小学校事業場	45	39	86.7%	17	37.8%
附属中学校事業場	33	25	75.8%	7	21.2%
附属高等学校事業場	44	38	86.4%	13	29.5%
附属駒場中・高等学校事業場	49	43	87.8%	12	24.5%
附属視覚特別支援学校事業場	111	97	87.4%	34	30.6%
附属聴覚特別支援学校事業場	97	83	85.6%	28	28.9%
附属大塚特別支援学校事業場	38	34	89.5%	7	18.4%
附属桐が丘特別支援学校事業場	78	62	79.5%	10	12.8%
附属坂戸高等学校事業場	46	36	78.3%	9	19.6%
附属久里浜特別支援学校事業場	43	29	67.4%	10	23.3%
合 計	6,124	4,753	77.6%	1,533	25.0%

(注) 1 つ以上所見を有する者の数。

iii) 項目別有所見者数及び有所見率

項目	春			秋		
	実施者数	有所見者数	有所見率	実施者数	有所見者数	有所見率
聴力 1000Hz	3,314	94	2.8%	700	20	2.9%
聴力 4000Hz	3,314	125	3.8%	683	29	4.2%
聴力（会話法）	2,265	6	0.3%	519	0	0.0%
胸部エックス線	5,481	602	11.0%	806	105	13.0%
喀痰検査	0	0		0	0	
血圧	5,573	843	15.1%	1,190	341	28.7%
貧血	3,803	916	24.1%	893	278	31.1%
肝	3,803	905	23.8%	893	282	31.6%
脂質	3,803	1,995	52.5%	893	500	56.0%
血糖	3,803	1,945	51.1%	885	472	53.3%
尿（糖）	5,556	122	2.2%	1,187	92	7.8%
尿（蛋白）	5,545	77	1.4%	1,183	104	8.8%
心電図	3,808	973	25.6%	880	210	23.9%

iv) 年間の有所見者数

(秋期には今年度 2 回目の受診者も含む (業務により年 2 回の受診が必要))

健診時期	受診者数	受診率	有所見者数 ^注 (要観察・要精密・要医療)	医療機関受診が必要な者の数 (要精密・要医療)
春	5,573	83.8%	3,593	1,364
秋	1,196	67.1%	834	290
合計	6,769	80.3%	4,427	1,654

(注) 1 つ以上所見を有する者の数。

v) 特定業務従事者の健康診断

業務		高熱	低温	放射線	粉じん	異常気圧	振動	重量物
人数	春	0	2	148	0	7	0	0
	秋	0	2	137	0	6	0	0
業務		騒音	坑内	深夜	酸・アルカリ	有害物ガス	病原体汚染	その他
人数	春	2	0	517	0	66	20	0
	秋	2	0	202	0	31	40	0

(注) 受診者のみ。2 つ以上の業務に該当するものについては、主として従事する業務。

2) 特殊健康診断

i) 電離放射線健康診断

実施月	従事者数	実施者数	眼科医による眼の検査	業務に伴う有所見者数
5 月（初心者）	10	9		
5 月	678	647	0	0
7 月（初心者）	3	2		
11 月（初心者）	5	4		
11 月	649	608	0	0
令和 5 年 3 月 （初心者）	3	3		
合計	1,348	1,273	0	0

（注 1）実施月のうち 5 月，11 月以外は，新規に放射線作業に従事するために講習を受けた者のみの健康診断である。

（注 2）前年 1 年間に眼の水晶体に受けた等価線量が 20mSv を超えており，今年度も超えるおそれのある者の眼の検査は，眼科医により実施。

ii) 有機溶剤健康診断

実施月	従事者数	実施者数	業務に伴う有所見者数
5 月	24	24	0
11 月	72	61	0
合計	96	85	0

（注）令和 5 年 11 月より対象者の特定方法を自己申告から大学が作業環境測定を行った実験室を使用し，受診指示をした者へ変更。

iii) 特定化学物質健康診断

特殊健康診断名	従事者数	実施者数	業務に伴う有所見者数
5 月	13	13	0
11 月	50	40	0
合計	63	53	0

(注) 令和 5 年 11 月より対象者の特定方法を自己申告から大学が作業環境測定を行った実験室を使用し、受診指示をした者へ変更。

iv) 高気圧業務健康診断

特殊健康診断名	従事者数	実施者数	業務に伴う有所見者数
5 月	7	7	0
11 月	6	6	0
合計	13	13	0

3) 事後措置

i) 受診勧奨及び健康相談

健診後の対応	件数
通知送付	526
電話	83
メール	31
面談	80
合計	720

ii) 医師の意見

就業上配慮が必要と思われ、産業医から所属部署へ報告した人数	0
-------------------------------	---

4) がん検診

i) 胃造影検査

地 区	対象数	受診数	受診率	要精密数
筑波地区	3,350	30	0.9%	1
東京地区	526	12	2.3%	0
合 計	3,876	42	1.1%	1

(注) 対象は、平成30年度から40才以上の常勤職員及び週20時間以上勤務の非常勤職員。希望者。
平成25年度から全員間接撮影。

ii) 便潜血反応検査

地 区	対象数	受診数	受診率	要精密数
筑波地区	3,385	456	13.5%	25
東京地区	541	112	20.7%	4
合 計	3,926	568	14.5%	29

(注) 対象は、令和2年度から40才以上の常勤職員及び週20時間以上勤務の非常勤職員。希望者。
免疫学的便潜血反応検査（ラテックス凝縮法）を用いた。

iii) P S A検査

地 区	対象数	受診数	受診率	要精密数
筑波地区	466	30	6.4%	3
東京地区	68	4	5.9%	0
合 計	534	34	6.4%	3

(注) 対象は、令和3年度から50・55・60・65歳の常勤職員及び週20時間勤務の非常勤職員。
希望者。

9. 保健管理センター利用状況

1) 健康相談月別利用状況

i) 学生内科受診数

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
学 群 生	12	107	56	46	18	13	137	172	37	16	27	19	660
大 学 院 生	15	31	37	25	14	16	104	121	30	21	22	20	456
研 究 生 等	1	6	5	6	1	3	8	10	13	11	2	3	69
合 計	28	144	98	77	33	32	249	303	80	48	51	42	1,185

ii) 学生整形外科受診数

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
学 群 生	7	32	47	31	30	37	22	20	23	15	17	27	308
大 学 院 生	2	6	12	5	8	6	6	11	7	10	11	4	88
研 究 生 等	1	5	2	1	0	1	1	0	0	0	1	0	12
合 計	10	43	61	37	38	44	29	31	30	25	29	31	408

iii) 学生外科処置・健康相談受診数

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
学 群 生	11	5	10	4	4	0	6	6	3	1	1	2	53
大 学 院 生	1	0	0	0	0	1	3	0	1	1	3	0	10
研 究 生 等	0	0	1	0	0	0	3	0	0	0	0	0	4
合 計	12	5	11	4	4	1	12	6	4	2	4	2	67

(注) 学生外科処置・健康相談受診数とは、看護師が実施した件数である。

iv) 学生精神科受診数

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
学 群 生	56	81	80	92	74	64	94	75	105	79	80	74	954
大 学 院 生	62	79	85	84	59	70	89	61	85	70	78	67	889
研 究 生 等	0	2	3	1	0	0	1	2	5	3	1	2	20
合 計	118	162	168	177	133	134	184	138	195	152	159	143	1,863

v) 職員・その他

区分／ 科別内訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
本 学 職 員	2	6	9	22	18	12	206	186	23	8	9	5	506
そ の 他 の 外 来 者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	2	6	9	22	18	12	206	186	23	8	9	5	506

内 科	1	5	9	19	12	8	201	186	19	5	6	3	474
整 形 外 科	0	0	0	3	5	4	4	0	4	3	2	2	27
精 神 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外 科 処 置	1	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	5

(注) その他の外来者とは、本学校内における公開講座、合宿の参加者、見学者などである。

(注) 精神科は、急患対応のみである。

2) 診療収入等

科別内訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(円)
内 科	30,600	84,800	101,200	70,700	43,800	37,500	120,400	66,800	78,300	60,200	74,600	58,700	827,600
整 形 外 科	9,300	43,600	68,400	37,700	41,200	46,400	36,300	33,000	37,500	29,500	38,500	32,000	453,400
精 神 科	228,000	278,000	274,000	283,000	232,000	247,000	341,000	243,000	350,000	276,000	307,000	279,000	3,338,000
そ の 他	4,000	6,000	4,000	10,000	2,000	3,000	1,089,000	1,279,000	70,500	2,500	8,000	0	2,478,000
合 計 (円)	271,900	412,400	447,600	401,400	319,000	333,900	1,586,700	1,621,800	536,300	368,200	428,100	369,700	7,097,000

(注) 診療収入等には、診療費、薬剤費、診断書等が含まれる。

(注) その他には、診察外の診断書、予防接種等が含まれる。

参考：前年度（2022.4～2023.3）の診療収入等

科別内訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(円)
内 科	17,900	26,900	57,100	58,300	48,800	34,800	64,400	56,000	42,100	60,600	63,800	63,600	594,300
整 形 外 科	51,700	60,700	89,100	46,500	61,000	59,100	92,900	58,800	58,100	47,000	35,700	24,600	685,200
精 神 科	212,000	283,000	320,500	309,500	239,000	261,000	336,000	231,000	341,000	301,000	304,500	392,000	3,530,500
そ の 他	2,000	9,000	8,000	10,500	6,500	8,500	978,000	542,000	662,500	6,500	2,500	7,000	2,243,000
合 計 (円)	283,600	379,600	474,700	424,800	355,300	363,400	1,471,300	887,800	1,103,700	415,100	406,500	487,200	7,053,000

10. そ の 他

1) インフルエンザワクチン接種

対 象	接 種 数
学 生	417
職 員	392
計	809

2) 臨床検査実施数

月	血 液	尿	心電図	超音波検査	腸内細菌検査	その他	合 計
4		2	1			1	4
5	4	17	57			2	80
6	3	29	13		3	6	54
7	6	9	16	1	4	5	41
8	5	6	5	2		5	23
9	3	4	5			1	13
10	5	19	2			8	34
11	2	17	4			3	26
12	4	6	5			3	18
1	6	8	9			7	30
2	11	27	9			8	55
3	3	10	8			4	25
合 計	52	154	134	3	7	53	403

3) エックス線写真撮影件数

区 分	学 生	職 員	合 計
月	件 数	件 数	件 数
4	12	0	12
5	44	1	45
6	75	1	76
7	40	9	49
8	26	6	32
9	33	4	37
10	50	2	52
11	36	1	37
12	33	2	35
1	27	2	29
2	38	5	43
3	34	0	34
合 計	448	33	481
学生定期健康診断撮影 8,064名			
職員定期健康診断撮影 5,893名			

4) 心理検査実施数

月	実 施 数
4	
5	2
6	
7	
8	
9	
10	3
11	
12	
1	
2	
3	3
合 計	8

5) 処方箋発行枚数

月	発 行 数
令和5年4月	117
5月	185
6月	182
7月	165
8月	135
9月	144
10月	205
11月	150
12月	216
令和6年1月	157
2月	162
3月	131
合 計	1,949

6) 外部診療機関紹介状況

区分 \ 科分類	内 科	整形外科	精 神 科	救急外来	そ の 他	合 計
学 群 生	29	8	32	0	36	105
大 学 院 生	9	8	26	1	11	55
研 究 生	6	2	1	1	2	12
学 生 合 計	44	18	59	2	49	172
職 員 ・ そ の 他	6	4	0	1	5	16
合 計	50	22	59	3	54	188

注) 区分のその他とは、本学校内における公開講座，合宿の参加者，見学者などである。

7) 健康診断証明書等発行数

i) 無償診断書等

	センター発行	自動証明書発行 装置発行	合 計
学 群 生	3	2,014	2,017
大 学 院 生	6	1,451	1,457
研 究 生	3		3
職 員	32		32
そ の 他	2		2
合 計	46	3,465	3,511

(注) 自動証明発行装置は、学生定型書式のみ。
 その他は、学振・特別研究員等である。

ii) 有償診断書等

	計
学 群 生	77
大 学 院 生	85
研 究 生	3
学生合計	165

職 員・そ の 他	17
-----------	----

診断書：診療に関わるものや有償健康診断を含む

8) 救護活動

No.	実施期間	日数	行事等名称	救護班設置場所	利用 件数
1	4/5	1	入学式, 大学院入学式	保健管理センター	0
2	4/6	1	英語プレイスメントテスト	保健管理センター	0
3	5/13, 14	2	春季スポーツデー	保健管理センター	4
4	7/1, 2	2	令和6年度 大学院入学試験 (7月期)	保健管理センター	0
5	7/8, 9	2	令和6年度 学群編入学試験 帰国生徒特別入試 (10月入学)	保健管理センター	0
6	7/27	1	大子町オープンキャンパス	保健管理センター	0
7	8/5, 6, 11	3	大学説明会 (オープンキャンパス)	保健管理センター	2
8	8/22 ~ 8/29	6	令和6年度 大学院入学試験 (8月期) ヒューマンバイオロジータ学位プログラム (HBP) 8月期入試 国際バカロレア海外教育プログラム特別入試	保健管理センター	0
9	10/11 ~ 24	7	令和6年度 アドミッションセンター・国際科学 オリンピック特別入試・国際バカロレア特別入試	保健管理センター	0
10	10/14 ~ 20	5	令和6年度 大学院入学試験 (10月実施)	保健管理センター	0
11	10/21 (No9 に含む)	1	令和6年度 研究型人才入試	保健管理センター	0
12	11/3 ~ 5	3	学園祭	保健管理センター	6
13	11/18, 19	2	秋季スポーツデー	保健管理センター	4
14	11/29, 30	2	令和6年度 推薦入試	保健管理センター 体芸試験場救護室	1
15	12/20	1	常陸大宮市中学生オープンキャンパス	保健管理センター	0
16	2024/1/13, 14	2	大学入学共通テスト	保健管理センター 各入試会場救護室	9
17	1/23, 25, 26, 29, 30, 31, 2/1	7	大学院入試 (2月期)・学位プログラム	保健管理センター	0
18	2/25, 26	2	個別学力検査等 (前期日程)・学群編入学試験	保健管理センター 各入試会場救護室	2
19	3/12	1	個別学力検査等 (後期日程)	保健管理センター	0
20	3/13	1	2020年度入学者に向けた入学式	保健管理センター	0
21	3/25	1	卒業式, 大学院学位記授与式	保健管理センター	0
計					28

9) 救急箱貸出数

月	貸 出 数
令和5年4月	0
5月	1
6月	0
7月	2
8月	2
9月	0
10月	0
11月	5
12月	0
令和6年1月	7
2月	7
3月	3
合 計	27

10) 医療安全教育研修

第1回 診療の安全に関する研修

1. 対 象 筑波大学附属病院職員等
2. 期 日 令和5年8月
3. 場 所 学内専用システム manaba
4. 参加人数 22名
5. 担 当 附属病院臨床医療管理部外
6. 内 容 医療事故防止に関する基本的事項
あの事故を振り返る

第2回 診療の安全に関する研修

1. 対 象 筑波大学附属病院職員等
2. 期 日 令和5年12月
3. 場 所 学内専用システム manaba
4. 参加人数 22名
5. 担 当 附属病院臨床医療管理部外
6. 内 容 医療事故防止に関する基本的事項
 - ・ 当院がめざす医療安全
 - ・ 自殺未遂者対応と自殺事故防止

11. 研 究 業 績

<原著論文>

1. Shinoda Y, Yamasaki H, Murakoshi N, Kohno T, Yamane T, Aonuma K, Ishizu T. Balloon surface temperature-controlled ablation using a second-generation radiofrequency HotBalloon: an in vivo feasibility study. *Europace*. 2023 Dec 6; 25(12): euad340. doi: 10.1093/europace/euad340. PMID: 37950630
2. Nagai K, Harada T, Mase K, Iseki K, Moriyama T, Tsuruya K, Fujimoto S, Narita I, Konta T, Kondo M, Kasahara M, Shibagaki Y, Asahi K, Watanabe T, Yamagata K: Weight Loss Improves Liver Dysfunction and Dipstick Proteinuria in Obesity: The Japan Specific Health Checkups Study. *JMA Journal* 6: 312-320, 2023
3. Mase K, Yamagata K, Yamamoto H, Tsuruya K, Hase H, Nishi S, Nangaku M, Wada Y, Hayashi T, Uemura Y, Hirakata H: Predictors of hyporesponsiveness to erythropoiesis-stimulating agents in patients with non-dialysis-dependent chronic kidney disease (RADIANCE-CKD Study). *American Journal of Nephrology* published online October 4, 2023
4. Ishii R, Kai H, Nakajima K, Harada T, Akiyama T, Okada E, Tsunoda R, Usui T, Mase K, Morito N, Saito C, Usui J, Yamagata K: Renal Hemodynamic and Functional Changes in Patients with ADPKD. *Kidney*360 published online March 21, 2024
5. 白鳥裕貴. 自殺念慮, 自殺関連行動の評価尺度. 精神科. 科学評論社. 42. 4. p.507-512. 2023
6. Ogawa, Takahumi; Shiratori, Yuki; Midorikawa, Haruhiko; Aiba, Miyuki; Sugawara, Daichi; Kawakami, Naoaki; Arai, Tetsuaki; Tachikawa, Hirokazu. A Survey of Changes in the Psychological State of Individuals with Social Withdrawal (hikikomori) in the Context of the COVID Pandemic. *COVID*. 3. 8. p.1158- 1172. 2023
7. Midorikawa, Haruhiko; Tachikawa, Hirokazu; Kushibiki, Natsuho; Wataya, Keiko; Takahashi, Sho; Shiratori, Yuki; Nemoto, Kiyotaka; Sasahara, Shinichiro; Doki, Shotaro; Hori, Daisuke; Matsuzaki, Ichiyo; Arai, Testuaki; Yamagata, Kunihiro. Association of fear of COVID-19 and resilience with psychological distress among health care workers in hospitals responding to COVID-19: analysis of a cross-sectional study. *Frontiers in Psychiatry*. 14. 1150374. 2023.
8. 高橋あすみ; 太刀川弘和; 石井映美; 松原敏郎; 岡本百合; 三井信幸; 布施泰子; 丸谷俊之; 小田原俊成; 渡辺慶一郎; 川島義高; 梶谷康介; 河西千秋; 衛藤暢明; 菅原大地; 白鳥裕貴; 堀正士; 安宅勝弘. 自殺予防プログラムの多施設共同研究. 大学のメンタルヘルス. 7. p.56.-56. 2023
9. 高橋あすみ; 太刀川弘和; 石井映美; 松原敏郎; 岡本百合; 三井信幸; 布施泰子; 丸谷俊之; 小田原俊成; 渡辺慶一郎; 川島義高; 梶谷康介; 河西千秋; 衛藤暢明; 菅原大地; 白鳥裕貴; 堀正士; 安宅勝弘. 大学生の自殺予防プログラム全国開発研究経過報告. 大学のメンタルヘルス. 5. p.39- 40. 2023
10. 太刀川弘和. 災害支援者支援—BCP への組み入れを. 日本医事新報「識者の眼 医療界を読み解く」. p.52-53. 2024 年 3 月

11. 松浦麻子, 笹原信一郎, 綿谷恵子, 氏原将奈, 川島義高, 高橋晶, 太刀川弘和, 林田稔也, 内田聡, Maral Soronzonbold, 金井宣茂, 塚田武尊, 三垣和歌子, Reem AL Assaad, 石塚真美, 室井慧, 高橋司, 堀大介, 道喜将太郎, 松崎一葉. COVID-19 対応病棟で勤務する看護師のモラルジレンマ. 体力・栄養・免疫学雑誌. 33. p.118-119. 2023
12. Sugawara Daichi, Mizuno Yasuhiro, Ujihara Masana, Mogi Mayu, Gen Towa, Tachikawa Hirokazu, Cho Yoshinori. Reasons for Suicidal Ideation and Suicide Attempts during the COVID-19 Pandemic in Japan. *Journal of Suicidology*. 18. p.763-772. 2023.
13. 高橋あすみ, 太刀川弘和, 石井映美, 松原敏郎, 岡本百合, 三井信幸, 布施泰子, 丸谷俊之, 小田原俊成, 渡辺慶一郎, 川島義高, 梶谷康介, 河西千秋, 衛藤暢明, 菅原大地, 白鳥裕貴, 堀正士, 安宅勝弘. 自殺予防プログラムの多施設共同研究. 大学のメンタルヘルス. 7. P.56. 2023.
14. 太刀川弘和. マスクとワクチン—自殺と報道の関係について—. 精神神経学雑誌 125. p974-981 2023 年
15. 太刀川弘和. ダイヤモンド・プリンセス号隔離期間における乗船者のメンタルヘルス. 医学のあゆみ. 287. p.159-160. 2023 年
16. 太刀川弘和. コロナ禍の災害精神支援と自殺対策へのヒント シンポジウム 災禍の自殺対策—支援を創意工夫するためのヒント—. 自殺予防と危機介入 43. p.25-29. 2023.
17. Ishii Takao, Yonemoto Naohiro, Otaka Yasushi, Okamura Kazuya, Tsujii Noa, Otsuka Kotaro, Yoshimura Reiji, Kinoshita Toshihiko, Fujisawa Daisuke, Tachikawa Hirokazu, Yamada Mitsuhiko, Tsuyama Yusuke, Hashimoto Satoshi, Kawanishi Chiaki. Implementations of an evidence-based assertive case management intervention for suicide attempters: Post-ACTION-J Study (PACS). *Psychiatry Clin. Neurosci. Rep.* 2. e106. 2023.
18. 太刀川弘和. 孤独を防ぐ SNS の効果とリスク. 心と社会. 54. p.45-51. 2023.
19. Tachikawa Hirokazu, Matsushima Midori, Midorikawa Haruhiko, Aiba Miyuki, Okubo Ryo, Tabuchi Takahiro. Impact of loneliness on suicidal ideation during the COVID-19 pandemic: findings from a cross-sectional online survey in Japan. *BMJ OPEN*. 2023. 13. e063363.
20. Ota M, Sato N, Takahashi Y, Shigemoto Y, Kimura Y, Nakaya M, Chiba E, Matsuda H. Correlation between the regional brain volume and glymphatic system activity in progressive supranuclear palsy. *Dement Geriatr Cogn Disord*. 2023 Mar 13. doi: 10.1159/000530075. Online ahead of print.
21. Kimura Y, Sato W, Maikusa N, Ota M, Shigemoto Y, Chiba E, Arizono E, Maki H, Shin I, Amano K, Matsuda H, Yamamura T, Sato N. Free-water-corrected diffusion and adrenergic/muscarinic antibodies in myalgic encephalomyelitis/chronic fatigue syndrome. *J Neuroimaging*. 2023 Sep-Oct; 33(5): 845-851. doi: 10.1111/jon.13128.
22. Chiba E, Sato N, Kimura Y, Shigemoto Y, Maki H, Arizono E, Hamamoto K, Taniguchi G, Iwasaki M, Ota M, Matsuda H, Nakagawa E. Double inversion recovery MRI of subcortical band heterotopia and its variations. *J Neuroimaging*. 2023 Sep-Oct; 33(5): 731-736. doi: 10.1111/jon.13141.
23. Ota M, Sato N, Nakaya M, Shigemoto Y, Kimura Y, Chiba E, Yokoi Y, Tsukamoto T, Matsuda H. Relationship between the tau protein and choroid plexus volume in Alzheimer's disease. *Neuroreport*.

2023; 34(11): 546-550.

24. Maki H, Mori-Yoshimura M, Matsuda H, Hashimoto Y, Ota M, Kimura Y, Shigemoto Y, Ishihara N, Kan H, Chiba E, Arizono E, Yoshida S, Takahashi Y, Sato N. Brain Abnormalities in Becker Muscular Dystrophy: Evaluation by Voxel-Based DTI and Morphometric Analysis. AJNR Am J Neuroradiol. 2023 Dec 11; 44(12): 1405-1410. doi: 10.3174/ajnr.A8041.
25. Ota M, Sone D, Shigemoto Y, Kimura Y, Matsuda H, Sato N. Glymphatic System Activity and Brain Morphology in Patients With Psychogenic Non-epileptic Seizures. Cureus. 2024; 16(1): e53072. doi:10.7759/cureus.53072

<総説>

1. 三浦紘世, 門根秀樹, 朝田智之, 坂下孝太郎, 角南貴大, 山崎正志. 頸部の姿勢異常と歩容変化 三次元動作解析を用いた歩行解析. 脊椎脊髄. 36(12): 885-890, 2023
2. 三浦紘世, 門根秀樹, 朝田智之, 坂下孝太郎, 角南貴大, 山崎正志. 首下がり症候群に対する三次元動作解析を用いた脊椎アライメントの定量的歩行評価. 脊椎脊髄. 36(7): 469-472, 2023
3. 三浦紘世, 山崎正志. VR を用いたリハビリテーションによる高齢者の運動機能向上の取り組み. 脊椎脊髄. 36(6): 431-434, 2023
4. 三浦紘世, 國府田正雄, 山崎正志. 腰部装着型 HAL® を用いたロボットリハビリテーションの応用—慢性腰痛・ロコモティブシンドローム・廃用症候群への取り組み—. 関節外科. 42(5): 579-583, 2023
5. 間瀬かおり, 山縣邦弘: 特集 腎臓病外来: マネジメントとコツ II. 慢性腎臓病再診のコツ 3. 日常生活習慣指導. 腎と透析 94(4): p.524-529, 2023
6. 間瀬かおり, 山縣邦弘: 特集 透析診療のすべて: 透析患者の便通管理. Hospitalist 11(2): p.392-397, 2023
7. 佐藤典子, 太田深秀. グリアリンパ系 (glymphatic system) の MRI を用いた臨床評価 医学のあゆみ 287 (13) 965-970, 2023.

<学会発表 (国内)>

1. Miura K, Sakashita K, Eto F, Noguchi H, Takahashi H, Funayama T, Koda M, Yamazaki M. Impact of preoperative nutritional status diagnosed using controlling nutritional status on major complications after degenerative cervical myelopathy surgery: a propensity score matching analysis. 13th Annual Meeting of the Cervical Spine Research Society Asia Pacific Section (CSRS-AP), March 2023, Yokohama
2. 三浦紘世, 蒲田久典, 野口裕史, 高橋宏, 船山徹, 國府田正雄, 山崎正志. HAL 腰タイプを活用した職業性腰痛の予防から慢性腰痛の治療までの取り組み. 第 50 回日本臨床バイオメカニクス学会 シンポジウム「腰痛のバイオメカニクス」, 2023 年 11 月, 姫路
3. 三浦紘世, 柴尾洋介, 角南貴人, 坂下孝太郎, 朝田智之, 江藤文彦, 野口裕史, 高橋宏, 船山徹, 國府田正雄, 山崎正志. Surgical apgar score と胸椎術後主要合併症発生との関連. 第 96 回日本整形外科学会, 2023 年 5 月, 横浜

4. 三浦紘世, 柴尾洋介, 角南貴人, 奥脇駿, 猪股兼人, 坂下孝太郎, 蒲田久典, 朝田智之, 江藤文彦, 野口裕史, 高橋宏, 船山徹, 國府田正雄, 山崎正志. Surgical apgar score による術中循環動態評価と胸椎術後主要合併症発生との関連. 第52回日本脊椎脊髄病学会, 2023年4月, 札幌
5. 村越伸行. 循環器領域における遺伝子解析. ～診療でどう解釈し活用するか～. 第5回静岡デバイス研究会. 2023年4月7日. 静岡, 日本.
6. Zonghu Song, Nobuyuki Murakoshi, Dongzhu Xu, Yoshiko Murakata, Zixun Yuan, Siqi Li, Kazuhiro Aonuma, Kazuko Tajiri, Haruka Mori, Akihiko Nogami, Masaki Ieda. The effect of BET inhibitor on pathogenesis of atrial fibrillation. 第88回日本循環器学会学術集会. 2024年3月8-10日. 神戸, 日本
7. Keiko Inoue, Tomoko Machino-Ohtsuka, Yoko Nakazawa, Noriko Iida, Rumi Sasamura, Hiroko Bando, Shigeru Chiba, Nobutaka Tasaka, Tomoko Ishizu, Nobuyuki Murakoshi, Dongzhu Xu, Ikuo Sekine, Kazuko Tajiri. Early Detection and Prediction of Anthracycline-Induced Cardiotoxicity — A Prospective Cohort Study —. 第88回日本循環器学会学術集会. 2024年3月8-10日. 神戸, 日本
8. 町野毅, 平谷太吾, 村越伸行, 佐藤明. 心内膜細胞治療のための3次元電気解剖マッピング対応細胞注入カテーテルの開発. 第23回日本再生医療学会総会. 2024年03月21～23日. 新潟, 日本.
9. 高橋真由美, 臼井丈一, 斎藤知栄, 間瀬かおり, 森戸直記, 角田亮也, 秋山知希, 甲斐平康, 藤田亜紀子, 山縣邦弘: In-silico アプローチを活用した膜性腎症の新規抗原探索の可能性. 第120回日本内科学会総会・講演会(東京), 2023年4月
10. 甲斐平康, 石井龍太, 森戸直記, 臼井俊明, 角田亮也, 秋山知希, 原田拓也, 中島健太郎, 高柳ひかり, 服部晃久, 間瀬かおり, 斎藤知栄, 臼井丈一, 山縣邦弘: 常染色体顕性多発嚢胞腎(ADPKD)におけるトルバプタン治療例の検討. 第66回日本腎臓学会学術総会(横浜), 2023年6月
11. 中島健太郎, 臼井俊明, 原田拓也, 秋山知希, 石井龍太, 角田亮也, 甲斐平康, 森戸直記, 間瀬かおり, 斎藤知栄, 臼井丈一, 星野哲也, 下條信威, 井上貴昭, 袖山紀子, 松崎朝樹, 新井哲明, 山縣邦弘: 急性血液浄化を施行して救命しえた致死性不整脈を伴うカフェイン中毒の一例. 第68回日本透析医学会学術集会・総会(神戸), 2023年6月
12. 中澤和人, 臼井俊明, 中島健太郎, 原田拓也, 秋山知希, 角田亮也, 岡田絵里, 甲斐平康, 森戸直記, 間瀬かおり, 臼井丈一, 斎藤知栄, 山縣邦弘: SARS-CoV-2 ワクチン接種後にIgA 血管炎による急速進行性糸球体腎炎をきたした1例. 第53回日本腎臓学会東部学術大会(仙台), 2023年9月
13. 松田哲, 秋山知希, 臼井俊明, 甲斐平康, 間瀬かおり, 森戸直記, 斎藤知栄, 臼井丈一, 川西邦夫, 山縣邦弘: 非結核生抗酸菌症加療によりANCA 関連血管炎の改善を認めた一例. 第53回日本腎臓学会東部学術大会(仙台), 2023年9月
14. 服部晃久, 臼井俊明, 中島健太郎, 原田拓也, 秋山知希, 角田亮也, 岡田絵里, 甲斐平康, 間瀬かおり, 森戸直記, 斎藤知栄, 臼井丈一, 森貞直哉, 野津寛大: ADPKD の診断基準を満たしたのが遺伝子検査でADTKD の確定診断に至った一例. 第53回日本腎臓学会東部学術大会(仙台), 2023年9月
15. 中島修平, 斎藤知栄, 臼井丈一, 中島健太郎, 原田拓也, 秋山知希, 高橋真由美, 角田亮也, 岡田絵里, 臼井俊明, 甲斐平康, 間瀬かおり, 森戸直記, 川西邦夫, 山縣邦弘. 非NELL-1 染色陽性であったブシラミン関連膜性腎症の一例. 第53回日本腎臓学会東部学術大会(仙台), 2023年9月

16. 井上晃平, 秋山知希, 臼井俊明, 甲斐平康, 森戸直記, 間瀬かおり, 斎藤知栄, 臼井丈一, 山縣邦弘: 致死的なアルコール性ケトアシドーシスに対して, 緊急血液透析を施行して救命した一例. 第 57 回茨城人工透析談話会 (つくば), 2023 年 11 月
17. 中島修平, 間瀬かおり, 原田拓也, 甲斐平康, 臼井丈一, 斎藤知栄, 古関久美子, 渡辺麻紀子, 濱田洋実, 山縣邦弘: IgA 腎症のコントロールが不良なまま妊娠し, 超低出生体重児の早産に至った一例. 第 33 回腎と妊娠研究会学術集会 (奈良), 2024 年 3 月
18. 木下侑亮, 阿部優, 増子裕典, 上田航大, 吉田和史, 北澤晴奈, 谷田貝洋平, 松山政史, 塩澤利博, 中澤健介, 小川良子, 際本拓未, 村上智哉, 會田有香, 森島祐子, 大鹿哲郎, 関根郁夫, 檜澤伸之. アレクチニブが奏功した ALK 陽性肺腺癌, 脈絡膜転移の一例 脈絡膜転移を考察する. 日本結核・非結核性抗酸菌症学会関東支部学会・日本呼吸器学会関東地方会合同学会 /184 回・256 回 / 2023.09.
19. 長濱圭佑, 吉田和史, 北澤晴奈, 谷田貝洋平, 松山政史, 増子裕典, 際本拓未, 小川良子, 森島祐子, 檜澤伸之. デュピルマブ投与で粘液栓が消失し周術期治療を遂行し得た進行食道癌合併重症気管支喘息の 1 例. 日本アレルギー学会 /2023.09.
20. 木村浩樹, 中川龍星, 北澤晴奈, 渡邊安祐美, 會田有香, 吉田和史, 谷田貝洋平, 松山政史, 塩澤利博, 中澤健介, 増子裕典, 小川良子, 際本拓未, 花木裕一, 中村雅俊, 森島祐子, 関根郁夫, 檜澤伸之. 両側主肺動脈狭窄をきたした胸腺癌に対して化学放射線療法が奏功した 1 例. 日本結核・非結核性抗酸菌症学会関東支部学会・日本呼吸器学会関東地方会合同学会 /185 回・258 回 / pp.22-22, 2024.02.
21. 白鳥裕貴; 袖山紀子; 小川貴史; 神林崇; 太田深秀; 新井哲明; 太刀川弘和. メンタル不調を抱えた学生に対する睡眠スケジュールに対する介入の効果. 第 42 回日本社会精神医学会. 2024.3
22. 櫛引夏歩; 菅原大地; 石塚里沙; 矢口知絵; 高木善史; 翠川晴彦; 小川貴史; 上月ゆり子; 米澤慎二郎; 齋藤真衣子; 相羽美幸; 白鳥裕貴; 川上直秋; 中村哲也; 堀孝文; 太刀川弘和. 中学生に対する社会的孤立・孤独の予防に焦点を当てた心理教育プログラムの開発. 第 42 回日本社会精神医学会. 2024.3
23. 石塚里沙; 櫛引夏歩; 高橋あすみ; 矢口知絵; 齋藤真衣子; 菅原大地; 相羽美幸; 白鳥裕貴; 川上直秋; 太刀川弘和. 埼玉県内の小中学校における「自殺予防に向けた教育」に関する教員の実態調査. 第 42 回日本社会精神医学会. 2024.3
24. 齋藤真衣子; 白鳥裕貴; 矢口知絵; 山田典子; 西野美千子; 水挽貴至; 堀孝文; 太刀川弘和. 精神科病院における自殺企図患者フォローアップ介入事業の介入中断例の検討. 第 47 回日本自殺予防学会総会. 2023.9
25. 石塚里沙; 櫛引夏歩; 矢口知絵; 菅原大地; 相羽美幸; 白鳥裕貴; 川上直秋; 中村哲也; 堀孝文; 太刀川弘和. 中学生向け孤立・孤独予防教育プログラムの地域実装に向けた自治体との連携のプロセスと課題. 第 47 回日本自殺予防学会総会. 2023.9
26. 相羽美幸; 古村健太郎; 川上直秋; 菅原大地; 白鳥裕貴; 櫛引夏歩; 翠川晴彦; 太刀川弘和. ソーシャル・サポートと社会的孤立者に対するスティグマが孤独感とうつに及ぼす影響. 第 47 回日本自殺予防学会総会. 2023.9

27. 櫛引夏歩; 相羽美幸; 菅原大地; 翠川晴彦; 古村健太郎; 白鳥裕貴; 川上直秋; 太刀川弘和. 自己愛傾向とひきこもりの関連における援助要請の調整効果の検討. 日本パーソナリティ心理学会第 32 回大会. 2023.9
28. 太刀川弘和; 高橋あすみ; 布施泰子; 石井映美; 松原敏郎; 丸谷俊之; 小田原俊成; 河西千秋; 三井信幸; 岡本百合; 渡辺慶一郎; 川島義高; 白鳥裕貴; 菅原大地; 梶谷康介; 太田深秀; 安宅勝弘. 大学生の自殺予防プログラム全国開発研究 2023 年度研究班活動報告. 第 45 回全国大学メンタルヘルス学会総会. 2023.12
29. 白鳥裕貴; 小川貴史; 太田深秀; 袖山紀子; 新井哲明; 太刀川弘和. Covid-19 流行時の留学生のメンタルヘルスについて. 第 119 回日本精神神経学会学術総会. 2023.6
30. 翠川晴彦; 相羽美幸; 古村健太郎; 櫛引夏歩; 菅原大地; 川上直秋; 白鳥裕貴; 太刀川弘和. ひきこもり傾向に関連する心理的特性—社会的孤立・孤独に関するオンラインアンケート調査結果より. 第 119 回日本精神神経学会学術総会. 2023.6
31. 古村健太郎; 相羽美幸; 菅原大地; 翠川晴彦; 櫛引夏歩; 白鳥裕貴; 川上直秋; 太刀川弘和. サポートネットワークと孤独感から捉える社会的孤立. 日本社会心理学会第 64 回大会. 2023.9
32. 相羽美幸; 古村健太郎; 川上直秋; 菅原大地; 白鳥裕貴; 櫛引夏歩; 翠川晴彦; 太刀川弘和. 社会的孤立者に対するスティグマ尺度の作成. 日本社会心理学会第 64 回大会. 2023.9
33. 菅原大地, 松本彩花, 八斗啓悟, 櫛引夏歩, 相羽美幸, 佐藤洋輔, 白鳥裕貴, 川上直秋, 翠川晴彦, 太刀川弘和. 孤立・孤独関連概念の構造. 日本心理学会第 87 回大会. 2023.9
34. Matsumoto Ayaka.; Aiba, Miyuki, Sugawara Daichi, Shiratori Y, Kawakami Naoaki, Hatto Keigo, Komura Kentaro, Kushibiki Natsuho, Midorikawa Haruhiko, Tachikawa Hirokazu. Examination of the clinical picture of social isolation using network analysis. 10th World Congress of Cognitive and Behavioral Therapies 2023. 2023.6
35. 齋藤真衣子, 矢口知絵, 高橋あすみ, 氏原将奈, 團野咲愛, 田村薫, 太刀川弘和. 心の悩みに関する AI チャットボットへの利用者の反応. 第 42 回日本社会精神医学会. 2024.3.
36. 伊藤結加里, 翠川晴彦, 高橋晶, 太刀川弘和. 自然災害における支援者(救援者)のメンタルヘルスに関するスコーピングレビュー. 第 29 回日本災害医学会総会学術集会. 2024.2.
37. 横須賀鈴菜, 太刀川弘和, 伊藤嘉朗, 綿谷恵子, 高橋卓巳, 松丸祐司, 新井哲明. 多彩な精神症状を呈した脳アミロイドアンギオパチーの一例. 第 28 回日本神経精神医学会学術集会/2023-12
38. 佐藤晋爾, 太刀川弘和, 門脇陽子. せん妄下で自殺企図に至った一例: 自殺類似行動概念の再考. 第 36 回日本総合病院精神医学会総会/2023-11.
39. 太刀川弘和. 孤立・孤独の概念整理 シンポジウム 55 「孤立・孤独問題に対する公衆衛生学的アプローチ」. 第 82 回日本公衆衛生学会総会/2023-10.
40. 安宅勝弘, 太刀川弘和, 布施泰子, 茨木丈博, 丸谷俊之, 高橋あすみ, 石井映美, 小田原俊成, 河西千秋. 公立・私立大学を対象とした死亡学生実態調査—第 2 報: 2022 年度データを中心に—. 第 61 回全国大学保健管理研究集会/2023-10.
41. 太刀川弘和. 医学的自殺対策の進展と課題 ワークショップ 自殺対策の振り返りとこれから—自殺対策基本法 20 年に向けて. 第 47 回日本自殺予防学会総会. 2023-09.

42. 太刀川弘和. 未成年の自殺の実態と予防介入のあり方—つながりと学びの視点から— シンポジウム 11 未成年の自殺をめぐる課題と対策～実態・予防・介入・事後対応. 第 20 回日本うつ病学会総会/2023-07.
43. 渡部衣美, 太刀川弘和, 根本清貴, 山川百合子, 繁田雅弘, 新井哲明. 精神科多職種連携治療・ケアを担う人材養成 PsySEPTA の取り組みと今後の展望. 第 119 回日本精神神経学会学術総会/2023.6.
44. 沼田悠梨子, 太田深秀, 北畠綾子, 竹内具子, 翠川晴彦, 田村昌士, 高橋卓巳, 根本清貴, 新井哲明. 若年性認知症が疑われた ADHD 特性を持つ一症例について—神経心理学的検査と脳画像検査の特徴から—. 第 6 回日本老年臨床心理学会 2024 年 3 月 2-3 日. 名古屋 愛知
45. 太田深秀, 佐藤典子, 仲谷元, 木村有喜男, 重本蓉子, 千葉英美子, 横井優磨, 塚本忠, 松田博史. アルツハイマー型認知症患者における脳内異物除去システム. 第 42 回日本認知症学会 2023 年 11 月 23-24 日. 仙台 岩手
46. 太田深秀, 佐藤典子, 松田博史. アルツハイマー型認知症における脈絡叢の容積とタウ蛋白との関連について. 第 28 回日本神経精神医学会学術集会 2023 年 12 月 9 日 (土) ~ 10 日 (日) 筑波 茨城
47. 北畠綾子, 太田深秀, 沼田悠理子, 根本清貴, 新井哲明. 若年発症のアルツハイマー型認知症や軽度認知機能障害における認知機能の特徴的な変化についての検討. 第 47 回日本神経心理学会学術集会 2023 9 月 7 日 (木)・8 日 (金). 高知 高知

<学会発表（国外）>

1. Siqu Li, Dongzhu Xu, Kazuko Tajiri, Nobuyuki Murakoshi. 4E-BP3 Deficiency Ameliorates the Development of Autoimmune Myocarditis in Mice. North American Meeting of the International Society of Heart Research. 26-30, Jun, 2023. Wisconsin, USA.
2. Kazuhiro Aonuma, Dongzhu Xu, Nobuyuki Murakoshi, Kazuko Tajiri, Zixun Yuan, Yuta Okabe, Siqu Li, Yoshiko Murakata, Kenichi Tominaga, Akihiko Nogami, Kazutaka Aonuma, Masaki Ieda, Hiroko Isoda. Impact of isorhamnetin for suppression of action potential aberrations associated with atrial fibrillation. Annual Meeting of the European Society of Cardiology (ESC). 25-28, Aug. 2023. Amsterdam, Netherlands.
3. Yuta Okabe, Nobuyuki Murakoshi, Yoko Ito, Chika Miyoshi, Hiromasa Funato, Koichiro Ishii, Hana Inoue, Takashi Murayama, Nagomi Kurebayashi, Dongzhu Xu, Kazuhiro Aonuma, Shigeharu Wakana, Utako Yokoyama, Takashi Sakurai, Masaki Ieda, Masashi Yanagisawa. Phenotype-Driven Forward Genetics Identifies a Novel Mouse Model of Inherited Arrhythmia with Spontaneous Sudden Cardiac Death. American Heart Association Scientific Session 2023. 11-13 Nov, 2023. Philadelphia, USA.

<講演>

1. 三浦紘世. 次世代リハビリの展望 —腰 HAL 研究とロボケアセンターの現状と展望—. 第 2 回日本日本地域医療学会学術集会モーニングセミナー. 2023 年 12 月, 志摩

2. 三浦紘世. 腰部脊柱管狭窄症に伴う神経障害性疼痛の治療戦略～難治例を作らないためのエッセンス～. 専門医から学ぶ ここが知りたい! Short Lecture web seminar. 2023 年 12 月, オンライン
3. 三浦紘世. 腰部脊柱管狭窄症に伴う神経障害性疼痛に対する, 病態に応じた治療体系～素早い地域連携を目指して～. 腰痛でお悩みの方いませんか? ～腰部脊柱管狭窄症 (LSS) 連携セミナー～. 2023 年 11 月, オンライン
4. 三浦紘世. Fenestrated Screw がもたらす骨粗鬆症患者に対する脊椎手術の発展. 第 38 回日本整形外科基礎学術集会アフタヌーンセミナー. 2023 年 10 月, つくば
5. 三浦紘世. 腰部装着型サイボーグを用いた運動器機能向上の取り組み. 第 38 回日本整形外科基礎学術集会エキスパートセミナー. 2023 年 10 月, つくば
6. 三浦紘世. 運動器機能向上のための HAL 腰タイプを活用したロボットリハビリテーション～ロコモ解決に向けた取り組み～. 亀田第一病院 腰ロボットリハビリテーション講演会. 2023 年 9 月, 新潟
7. 三浦紘世. 在宅における装着型サイボーグ HAL の可能性. 第 5 回日本在宅医療連合学術大会ランチョンセミナー. 2023 年 6 月, 新潟
8. 三浦紘世. HAL 腰タイプを用いた運動器機能向上の取り組み. 芳珠記念病院院内講演会. 2023 年 6 月, 能美
9. 三浦紘世. 骨粗鬆症性椎体骨折の治療戦略～骨粗鬆症治療薬の選択も含めて～. 第 13 回古河境整形外科研究会. 2023 年 6 月, ハイブリッド (境町)
10. 三浦紘世. 片開き頸椎椎弓形成術のコツとピットフォール～両開き派から移行して感じること～. Medtronic Spine Seminar. 2023 年 2 月. オンライン
11. Miura K. Successful Use of Lumbar HAL for Care Support in Several Occupations and Treatment for Musculoskeletal Disorders. HAL web seminar. February 2023. オンライン
12. 間瀬かおり: 透析患者の慢性便秘症の管理について. VITARIS 講演会「CKD とその関連病態から重症化予防を考える」(茨城県つくば市, Zoom ウェビナーによるハイブリッド開催), 2023 年 10 月 20 日
13. 白鳥裕貴: 発達障害とハラスメント: 茨城高専教職員研修会 :7, 2019
14. 白鳥裕貴: 大学生の自殺予防: 茨城大学ゲートキーパー養成講座 :2, 2020

<その他>

1. 三浦紘世. 筑波大学整形外科同門会奨励賞 基礎部門 Miura K, Kadone H, Asada T, Sakashita K, Sunami T, Koda M, Funayama T, Takahashi H, Noguchi H, Sato K, Eto F, Gamada H, Inomata K, Suzuki K, Yamazaki M. Evaluation of dynamic spinal alignment changes and compensation using three-dimensional gait motion analysis for dropped head syndrome. Spine J. 22(12):1974-1982, 2022
2. 三浦紘世. 三次元動作解析と深層学習を用いた腰痛症の歩行解析. 上原記念生命科学財団研究報告集. 37, 2023

令和7年3月

編集・発行 筑波大学保健管理センター

〒305-8577

茨城県つくば市天王台1-1-1

電話 (029) 853-2401

FAX (029) 853-2402
